

平成24年に新卒で入社した社員、山田君（建築部門）と古橋君（土木部門）の2人に対して、清水専務がインタビューしました。

**清水**：入社して3年経ちましたが、入社当時の目標は何でしたか。



**古橋**：入社して最初に就いた現場の監督が小嶋主任でした。彼のような「現場のことを全て頭の中に描き、現場にいる全ての人を効率よく動かすことのできる監督」になりたいと思いました。



**清水**：それを目標に3年間頑張ってきましたがどうでしたか。

**古橋**：まだ足下にも及びません。他の先輩監督の下にもついて現場を体験しましたが、皆それぞれ現場の進め方が違うので、それぞれの良いところを全部吸収しようと思いました。

**清水**：古橋君は今までに現場代理人として3件の現場を担当してきました。これから何かしら問題に直面したときに、先輩監督ならどう対処していたかを考えていって欲しいと思います。また、自分では足下にも及んでいないと言っていますが、そんなことはなく少しずつ近づいていると思います。前回担当した現場で、担当技術者の評価が満点であったことは、外部から認めてもらっているということだと思います。



**清水**：山田君はどうですか。

**山田**：最初は現場を進めるにあたって、学校で習ったかもしれないが、全くイメージができていませんでした。3年経った今、大卒なイメージを持てる様になりました。しかし、まだ細かい収まりのイメージができません。そこがこれからの課題だと感じています。

**清水**：3年経ちました。山田君も古橋君同様これからは先輩監督の良いところをまねして、自分のものにして欲しいと思います。

**山田**：建築部門には20年以上の経験を持つ先輩監督が5人います。それぞれの先輩の良いところを取り入れ、自分なりに現場をこなせる様になりました。覚えることだけで精一杯だったものが3年経ち、その覚えたことの応用で現場を運営することが大切だと感じました。



**清水**：これからも、人間として成長しながら頑張っ欲しいと思います。よろしくお願ひします。

**古橋・山田**：よろしくお願ひします。頑張ります。